

R2

令和2年度
第2回 議案

八雲町立図書館

図書館協議会

2021.1.13 水

八雲町立図書館 2F 集会室

pm 6:30 ▶

The Reiwa Period

令和2年度 第2回 八雲町立図書館協議会日程

【日時】 令和3年1月13日(水)
午後6時30分

【場所】 八雲町立図書館
2F 集会室

1. 開会

2. 挨拶 八雲町教育委員会教育長 土井 寿彦

3. 議事 議件審議

※議案「令和2年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧」参照

4. その他

5. 閉会

令和2年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧

区分	番号	件名	進行
報告	第1号	令和2年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について	①
	第2号	令和2年度 八雲町立図書館 施設利用状況について	②
	第3号	令和2年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について	③
	第4号	令和2年度 読書感想文・感想画コンクール 審査結果について	④
議案	第1号	令和2年度 八雲町教育委員会事務事業(令和元年度実施分)評価について	⑤
	第2号	令和3年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について	⑥
その他	その他		

報告 1 号

令和2年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について(12月末対比)

(1)八雲町立図書館(本館) ※団体貸出を除く

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV資料	計	
4月	15	544	75	619	1,792	1,004	105	13	2,914	1,472
5月	22	515	49	564	1,785	790	98	0	2,673	931
6月	25	917	93	1,010	2,848	1,567	190	0	4,605	1,900
7月	26	911	133	1,044	2,768	1,773	197	42	4,780	2,724
8月	28	972	131	1,103	2,818	1,706	168	69	4,761	2,787
9月	24	887	108	995	2,800	1,546	173	23	4,542	2,727
10月	25	931	116	1,047	2,726	1,644	182	26	4,578	3,225
11月	25	901	129	1,030	2,640	1,828	176	20	4,664	2,989
12月	25	920	132	1,052	3,140	2,180	175	28	5,523	2,871
1月				0					0	
2月				0					0	
3月				0					0	
合計	215	7,498	966	8,464	23,317	14,038	1,464	221	39,040	21,626
前年度	227	9,057	1,962	11,019	27,252	18,690	1,699	949	48,590	31,572
比較	△ 12	△ 1,559	△ 996	△ 2,555	△ 3,935	△ 4,652	△ 235	△ 728	△ 9,550	△ 9,946

(2)移動図書館 ※団体貸出しを除く

	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	27	83	110	71	397	468
5月	2	0	2	4	9	13
6月	45	145	190	95	606	701
7月	48	132	180	129	617	746
8月	32	114	146	86	553	639
9月	38	111	149	108	527	635
10月	39	155	194	135	679	814
11月	39	138	177	121	600	721
12月	36	127	163	165	540	705
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	306	1,005	1,311	914	4,528	5,442
前年度	474	1,116	1,590	913	4,982	5,895
比較	△ 168	△ 111	△ 279	1	△ 454	△ 453

(3)団体貸出 ※本館・移動図書館合計

	団体数	一般書	児童書	計
4月	23	210	529	739
5月	21	232	508	740
6月	23	248	656	904
7月	25	346	571	917
8月	33	260	711	971
9月	28	309	870	1,179
10月	33	222	734	956
11月	30	274	714	988
12月	28	246	596	842
1月				0
2月				0
3月				0
合計	244	2,347	5,889	8,236
前年度	298	2,315	6,790	9,105
比較	△ 54	32	△ 901	△ 869

(4)熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	19	0	19	48	3	51
5月	13	0	13	39	4	43
6月	22	0	22	64	7	71
7月	21	0	21	80	0	80
8月	17	0	17	44	1	45
9月	20	0	20	69	2	71
10月	16	0	16	48	1	49
11月	14	0	14	46	0	46
12月	21	0	21	61	1	62
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	163	0	163	499	19	518
前年度	135	9	144	444	92	536
比較	28	△ 9	19	55	△ 73	△ 18

(5)相互貸借（他館との資料貸し借りの状況）

	貸出冊数(八雲⇒他館)				借受冊数(他館⇒八雲)			
	一般書	児童書	雑誌	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	14	0	0	14	22	6	0	28
5月	12	0	0	12	30	0	0	30
6月	3	0	0	3	32	8	0	40
7月	13	0	1	14	38	6	2	46
8月	10	0	0	10	40	5	0	45
9月	2	0	0	2	31	11	0	42
10月	7	0	1	8	30	5	1	36
11月	17	1	0	18	36	9	0	45
12月	11	0	0	11	42	4	0	46
1月				0				0
2月				0				0
3月				0				0
合計	89	1	2	92	301	54	3	358
前年度	56	14	1	71	221	65	10	296
比較	33	△ 13	1	21	80	△ 11	△ 7	62

(6)Web公開 / メールリクエスト・Web予約 利用状況

	人数	冊数
4月	35	85
5月	136	581
6月	93	298
7月	60	213
8月	65	201
9月	61	169
10月	53	123
11月	59	139
12月	61	188
1月		
2月		
3月		
合計	623	1,997
前年度	325	695
比較	298	1,302

報告第 2 号

令和2年度
八雲町立図書館施設利用状況について

I 令和2年度 八雲町立図書館 施設利用状況（12月末対比）

		集会室（2F）		視聴覚ホール（2F）		ホール展示
		件数	人数	件数	人数	件数
4月	R2	1	8	2	2	2
	R1	6	69	6	45	1
5月	R2	0	0	2	2	0
	R1	11	120	7	75	2
6月	R2	5	35	1	2	0
	R1	19	174	11	167	2
7月	R2	5	45	2	2	2
	R1	6	65	9	129	1
8月	R2	7	53	2	2	2
	R1	10	80	9	131	2
9月	R2	9	81	2	90	2
	R1	12	64	7	79	2
10月	R2	8	118	14	194	1
	R1	8	114	12	331	1
11月	R2	8	70	11	137	1
	R1	15	92	15	332	2
12月	R2	8	93	11	50	2
	R1	7	123	12	59	1
1月	R2	0	0	0	0	0
	R1	21	125	10	88	2
2月	R2	0	0	0	0	0
	R1	16	109	8	28	2
3月	R2	0	0	0	0	0
	R1	1	8	6	7	1
合計 (12月末対比)	R2	51	503	47	481	12
	R1	94	901	88	1,348	14
	R2-R1	△ 43	△ 398	△ 41	△ 867	△ 2

令和2年度
八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について

Ⅰ令和2年度 八雲町立図書館 (12月末統計)

事業名	参加人数	事業内容
① おたのしみ えいが会	17人	毎月第2土曜日(R2.3~R2.9 会場空調工事のため未実施)
② おたのしみ こうさく会	40人	毎月第2土曜日(コロナ対策として5月~6月未実施)
③ おたのしみ どうわの日	109人	毎月第3土曜日(コロナ対策として4月~6月未実施)
④ 映画上映会	36人	一般対象 毎月第4土曜日(R2.3~R2.9 会場空調工事のため未実施)
⑤ おはなしひろば	22人	毎月2回 館内「おはなしのへや」での読み聞かせ(コロナ対策として4月~6月未実施)
⑥ ブックマラソン(スタンプカード)	199枚	児童対象 貸出冊数相当のスタンプ数に応じた記念品贈呈
⑦ ブックスタート	56人	八雲地域 毎月9か月相談日 (コロナ対策として5月未実施) 熊石地域 乳幼児相談日
⑧ 出前読み聞かせ支援	95人	①(乳)幼児・学童対象 2件 ②町内学校対象 4件
⑨ 古本リサイクル市	—	①4月14日▶4月17日(コロナ感染を考慮し中断) ②11月5日▶11月29日 ※除籍雑誌・蔵書本、ほか町民持込不要本の有効活用
⑩ 臨時特別開館	—	祝日・休館日(月)での臨時開館 ※4月▶9月 計3日 (コロナ対策として3日未実施あり)/ 10月▶3月 計4日間予定
⑪ 集会室(学習室)一般開放 ※コロナ感染を考慮し未実施	0人	八中・八高の定期試験時前を目途に一般開放 ※閲覧室満席状態の緩和案
⑫ 学校図書室支援事業説明会	0人	7月末日 参集を避け各学校への会議資料配布のみに留める。
⑬ ロビーコンサート	135人	11月14日(土)・12月6日(土)・12月12日(土)
⑭ ロビー朗読会	54人	7月19日(日)※前庭にて実施 ・12月5日(土)
⑮ 青空図書館 ※雨天により未実施	0人	【予定の内容】6/27(土)八雲町立図書館 (コロナ感染を考慮し前庭実施可能な場合のみ開催) ※趣旨・環境を変え、館外での読書・図書貸出・読み聞かせ・ゲーム等により読書活動への働き掛けを試みる
⑯ 第44回 文学史跡めぐり	13人	10月22日(木) 近くへ行きたい - 知ってるまち”八雲町”再探訪 - 八雲地域各所(黒岩奇岩/鶴田知也の碑/辨開風次郎生誕の地/山越関所 ほか)
⑰ 劇団公演	40人	10月11日(日) 下記「図書館フェスティバル」内で実施。 ※コロナ感染を考慮し例年実施の6月期を避け順延したもの
⑱ 図書館フェスティバル	215人	10/10 (土) 1日目 第9回 幻灯朗読会 - 猫と賢治と妹と - ①「第9回 幻灯朗読会 - 猫の事務所 - 」朗読/やくも朗読サークル ②「対談 - 妹から見た宮澤賢治 - 」講師/版画家 佐藤 国男氏 ※ほか、佐藤国男氏 木版画展
		10/11 (日) 2日目 ①「人形劇団 ブランコ」人形劇公演 ②こうさく会 (かみねんどスウィーツ×プラ板ブラック) ※ほか、佐藤国男氏 木版画展
⑲ 読書感想文・感想画コンクール表彰式	40人	・11月26日(木)表彰式 ・「光陰54号」発行 (270部) ・感想文 88点 / 感想画 187点 (合計 275点)

Ⅰ令和2年度 熊石総合支所図書室

事業名	参加人数	事業内容
図書展示	—	時節のテーマに沿った図書を約2ヶ月毎のルーティンで更新し展示

令和2年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について

令和2年度「読書感想文・感想画コンクール」審査結果

■ 鶴田知也賞 / 2篇

部 門	作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
感想文部門	「未来」が当たり前にある素晴らしさ	八雲中学校	2	大井 美園
感想画部門	「くつを作ってくれて、ありがとう」	浜松小学校	2	掛川 海翔

■ 最優秀賞 / 3篇

感想文部門 / 2篇

部 門	作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
小学校低学年の部	(該当なし)			
小学校中学年の部	(該当なし)			
小学校高学年の部	山崎最後の卒業生	山崎小学校	6	中嶋 悠結
高校・一般の部	私のままで生きていく	八雲高校	2	酒井 友菜

感想画部門 / 1篇

部 門	作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
小学校中学年の部	(該当なし)			
小学校高学年の部	アイスクリームを食べたあおむし	落部小学校	6	石井 旬

■ 優秀賞 / 11篇

感想文部門 / 8篇

部 門	作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
小学校低学年の部	「へのへのもへじ」をよんで	八雲小学校	1	脇本 桜和
	(該当なし)			
小学校中学年の部	のろいアメなんて、いらない	八雲小学校	3	片山 舞
	(該当なし)			
小学校高学年の部	本当に大切なこと	浜松小学校	6	北村 円椋
	努力で生まれ変わるポリ袋	山越小学校	6	湊 航真
中学校の部	王妃たちから学んだこと	八雲中学校	3	梅坪 光咲
	私の答え、あなたの答え	八雲中学校	3	三春 ひな子
高校・一般の部	二種類の考え方	八雲高校	2	数馬 玲音
	うまく生きていくための「ズルさ」	八雲高校	2	佐藤 さくら

感想画部門 / 3篇

部 門	作 品 名	学 校 名	学 年	氏 名
小学校低学年の部	おいしいね	東野小学校	1	富田 多朗
	スイミーたちがにげているところ	八雲小学校	1	ブルシャップ 晴路
小学校中学年の部	たんぼぼが大すきなおじいさん	落部小学校	3	澤田 美優
	(該当なし)			
小学校高学年の部	(該当なし)			
	(該当なし)			

議案第 1 号

令和元年度実施分 八雲町教育委員会事務事業評価について

令和元年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 2 年 12 月 21 日 作成

			担当課 (部局)	八雲町立図書館	係	奉仕係			
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令		条例	その他
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等					
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○	直営		委託	その他
	施策	2	町民の課題解決を支援する機能の充実	方法					
評価事務事業名		図書館フェスティバル開催事業							

事業概要	図書館啓発活動の一環として例月行事では企画し得ない催しを提供し、気軽に足を運んでもらう傍ら図書コーナー及び館内各会場を利用してもらえるよう、親しみを持って有効活用に供する情報収集施設としてPRを兼ねた利用促進を図る。令和元年度は新館20周年に当たり、特別講演の開催を組み入れたプログラムを構成。								
事業の目的	(1) 対象 (誰を、何を対象としているのか)			(3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか)					
	全世代問わず全般			町内協力団体と連携を図りながら2日間に渡り日替わりで一般向け・児童向けの催しを企画し対象者に合わせたプログラムサービスを提供。 ・1日目 (一般向け) 朗読サークルと共催で朗読と関連講演 ・2日目 (児童向け) 人形劇等公演会とこうさく会など					
	(2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	館内PRを兼ね今後の利用・来館に繋げる機会とする								
1 必要性	(1) 町関与の根拠 (町が行う必要がある事業か) 計 2 点								
	<input type="radio"/>	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。				1点	
	<input type="radio"/>	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由				1点	
		③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
		④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	図書を通じた情報提供を担う公共施設として、利用者の来館意欲に繋げる機会づくりは奉仕業務の一環としてすべき事業					
		⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点						
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点								
	<input type="radio"/>	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)				-	
		②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
	<input type="radio"/>	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	例年行事ながら参加人数にも恵まれ、現状予算の範囲内でプログラムを検討し実施に繋げる事はニーズに応じたサービス提供と捉える。					
	④限られた予算の中でも、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点								
	<input type="radio"/>	①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。				1点	
		②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
		③他に類似、重複した事業はない。	1点	協力団体と共催・連携を図る事で他の企画を生み出す機会にも繋がりが、図書館を会場として提供する催しの内容にも広がりが期待できる。					
	<input type="radio"/>	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定 計 1 点								
	区分	指標 (算式)		単位	H29実績	H30実績	R元実績	R元当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	実施日数	日	2	2	3	2	
		(算式)							
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	参加者数	人	290	215	365	250	
		(算式)							
		指標②							
		(算式)							
		①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	<input type="radio"/>	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)			1点	年度によって災害 (H29/台風) 等に伴う影響も否めない中で一定の参加者数が保たれている。			
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)			-1点					

4 効率性	(1) 事業費の推移				計	0	点
	区分	単位	H29決算額	H30決算額	R元決算額	R元事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト ○ 一般財源額
	事業費	千円	92	81	493		低下している 1点
	国・道費	千円				区分(節) 金額(千円)	○ 変わらない 0点
	地方債	千円				役員費 400	上昇している -1点
その他	千円				報償費 90	説明 R元の役員費400千円は記念行事に伴う単年度事業費	
一般財源	千円	92	81	493	需用費 3		
(2) 手法の効率化				計	2	点	
○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。 1点	
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。	
○	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	依頼講師との謝金交渉を図ると共に既存物品を活用し、こうさく材料費の節約に努め経費増加の抑制に繋げる	

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	必要性+有効性マトリックス	高達成度+効率性																																																																																																																																				
	A	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効率性</td><td>2</td></tr> </table>	項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効率性	2	<table border="1"> <tr><th colspan="2"></th><th colspan="8">必要性+有効性</th><th></th></tr> <tr><th colspan="2"></th><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th></th></tr> <tr><th rowspan="4">高達成度+効率性</th><th>6</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><th>5</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><th>4</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><th>3</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><th rowspan="4">低達成度+効率性</th><th>2</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><th>1</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><th>0</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><th>-1</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><th>-2</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> </table>			必要性+有効性											0	1	2	3	4	5	6	7	8~		高達成度+効率性	6										6	5										5	4										4	3										3	低達成度+効率性	2										2	1										1	0										0	-1										-1	-2									
項目	点数																																																																																																																																							
1 必要性	3																																																																																																																																							
2 有効性	2																																																																																																																																							
3 達成度	1																																																																																																																																							
4 効率性	2																																																																																																																																							
		必要性+有効性																																																																																																																																						
		0	1	2	3	4	5	6	7	8~																																																																																																																														
高達成度+効率性	6										6																																																																																																																													
	5										5																																																																																																																													
	4										4																																																																																																																													
	3										3																																																																																																																													
低達成度+効率性	2										2																																																																																																																													
	1										1																																																																																																																													
	0										0																																																																																																																													
	-1										-1																																																																																																																													
-2										-2																																																																																																																														

担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。
-------	---	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)	○ 現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続			
	B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善			
		事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善			
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討			
		必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討			
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他			
	D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
		※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨ 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他				

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	図書を閲覧する目的とは違うサイドメニューを提供し、参加を促しながら気軽に足を運べる施設として印象を深めてもらう一方、各部屋を会場とする事で将来貸館に向けた選択肢に繋がるよう、町民サービスと施設PRを兼ねた事業として現状規模を基本として今後も実施継続を図りたい。	

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント

令和元年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 2 年 12 月 25 日 作成

		担当課(部局)		図書館		係		奉仕係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令		条例	その他
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等					
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○	直営		委託	その他
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法					
評価事務事業名		読書感想文・感想画コンクール開催事業							

事業概要 毎年、6月に町内小・中・高等学校等の先生に審査委員を委嘱し、夏休みの課題として児童・生徒に取り組んでもらう。一般にも町広報で周知し、9月初めに応募締め切り、その後審査委員の審査により、11月に表彰式及び文集「光陰」を発行する。令和元年度で53回目となる。また、令和元年度より審査委員の半数を図書館関連団体(図書館協議会、やくも朗読サークル、童話サークルびいたあ★ばん)より選出いただき、より広い視点からの審査を行っていただいている。

事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)	(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)
	八雲町内に在住の児童生徒及び一般町民	表彰区分 【感想文部門】小学校低学年の部、小学校中学年の部、小学校高学年の部、中学校の部、高校・一般の部 【感想画部門】小学校低学年の部、小学校中学年の部、小学校高学年の部 優秀な作品は文集「光陰」に収録する。
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	読後の感想を文章や絵画に表現することで、読書をより深く楽しみ、表現力を身につけてもらう。	

1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 4 点	
	○ ①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点
	○ ③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点
	○ ④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点
	○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補充しながら行う事業。	1点
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 3 点	
	○ ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点
	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点
	○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点
○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点	
追加事由	1点	

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点	
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点
	○ ③他に類似、重複した事業はない。	1点
	○ ④町民参加の意識高揚が図られている。	1点

3 達成度	(1)達成度の測定 計 2 点						
	区分	指標(算式)	単位	H29実績	H30実績	R元実績	R元当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 学校参加数 (算式)	校	12校	12校	13校	13校
		指標② 一般参加数 (算式)	人		2		1
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 読書感想文 (算式)	点	158	240	120	180
		指標② 読書感想画 (算式)	点	76	173	252	200
		○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	学校数・児童生徒の人数は減少しているが、学校全体での取り組みとして参加をしてくれたり、一人で複数応募してくれる場合もあり、全体として成果は上がっている。				
	○ ③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点					

4 効率性	(1) 事業費の推移				計	-1	点	
	区分	単位	H29決算額	H30決算額	R元決算額	R元事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額
	事業費	千円	202	252	234		低下している	1点
	国・道費	千円				区分(節) 金額(千円)	変わらない	0点
	地方債	千円				報償費 198	○ 上昇している	-1点
	その他	千円				需用費 36	説明	参加人数の大幅な上昇により努力賞分の予算が足りなくなり、平成30年度、令和元年度は流用を行った。
	一般財源	千円	202	252	234			
(2) 手法の効率化				計	2	点		
○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。		1点
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
○	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	平成24年度より文集の表紙印刷と製本のみを業者に委託。本文の印刷を職員が行うことでコスト削減を図っている。		

項目別点数による評価

項目別点数による評価結果

A

↓

担当課評価

A

	項目	点数	
1	必要性	7	10
2	有効性	3	
3	達成度	2	3
4	効率性	1	

→

		必要性+有効性								高 達成度+効率性 低
		0	1	2	3	4	5	6	7	
6										
5										
4										
3										
2										
1										
0										
-1										
-2										

※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。
※評価は、次のA～Dによります。

A 現状にて事業を継続または拡充（必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い）

○ 現状のまま事業を継続 事業を拡充して継続

B 事業の進め方の改善により継続（必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い）

事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善
事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善
事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善

C 事業規模・内容等の見直しの検討（達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い）

制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討
必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他

D 事業の抜本的見直しを検討（必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い）

廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
----	----	----	----	-----------

※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨ 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他

説明

一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
学校数や児童生徒数の減少もあり、部門によっては参加に偏りも発生しているが、応募数は年々増加しており、読書活動における学校教育現場の関心の高さを伺わせるものになっている。図書館が積極的に参加を呼び掛けることで町民の読書活動を推進するために必要な事業である。	一般からの応募がほぼないため、より一般町民に向けた事業の周知、応募の呼びかけを行う必要がある。また、パソコンを利用するなどの自筆以外での応募、電子書籍を利用した読書での参加など、時代と町民のニーズに合わせた新しい実施方法を今後模索検討していくことも必要であると考えられる。

A～現状のまま事業を継続または拡充 B～事業の進め方の改善により継続 C～事業規模・内容等の見直しの検討 D～抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント

議案第 2 号

令和3年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について

令和元年度「読書感想文・感想画コンクール」からの審査委員構成(町内各学校教諭6名、一般町民6名)に伴い、引き続き図書館協議会委員より2名の協力を依頼するもの。

記

委員

委員

(委嘱期間:第1回審査委員会から令和3年11月30日まで)

※参考:令和2年度(委嘱期間:令和2年6月19日から令和2年11月30日まで)

令和3年1月13日